

令和6年度 北区立滝野川第五小学校 学校関係者評価報告書

令和7年2月20日

学校関係者評価委員会委員長 松本晴光

1 学校関係者評価委員会の構成

松本 晴光 (昭和町地区自治会連合会会長) 議波 壽男 (青少年昭和町地区委員会会長・
西田 政雄 (上中里中央自治会会長) 栄町親和会会長)
山田 和夫 (上中里貝塚町会会長) 石井 正 (上中里三丁目自治会長)
岩間 崇 (北区青少年地区委員) 金田 佳晃 (昭和町地区自治会連合会顧問)
西村 美奈子 (元本校PTA会長) 大竹 育子 (栄町子どもセンター長)
池内 朋美 (保護司) 野澤 耕二郎 (PTA会長)

2 学校関係者評価委員会の主な活動

日 時	会 場	協 議 内 容
令和6年6/24(月)	滝五小	経営方針・年間行事・児童の様子
令和7年2/19(水)	滝五小	児童・保護者・教員アンケート結果・自己評価報告書・次年度計画等

3 学校関係者評価の結果と分析

<評価 4：よくあてはまる 3：あてはまる 2：あまりあてはまらない 1：まったくあてはまらない>

項 目	児童	保護者	教員
1 明るく、笑顔あふれる学校が営まれている。(学校経営方針)	3.7	3.3	3.9
2 児童は学校生活を楽しんでいる。(児童の意欲と充実)	3.4	3.4	3.8
3 楽しく分かりやすい授業が行われている。(楽しい授業の提供)	3.5	3.1	3.7
4 教員は児童理解に努め、個に応じた指導を行っている。(個に応じた指導)	3.6	3.2	3.8
5 様々なものに触れたり見たりする体験活動を取り入れる等、工夫した授業が行われている。(授業改善の推進)	3.4	3.3	3.6
6 北コンを有効活用し、積極的に学習に取り入れている。(GIGA スクール構想の推進)	3.4	2.3	3.2
7 児童は自分から気持ちのよい挨拶をしている。(挨拶・礼儀)	3.5	3.0	3.8
8 児童は学校の決まりや約束を守り、落ち着いて生活している。(生活指導の徹底)	3.4	3.2	3.7
9 児童は自分を大切に、相手の立場に立って考え、互いに思いやる心が育っている。(人権教育の推進)	3.6	3.2	3.9
10 児童は困ることがあったとき等、大人(親や教員)や友達に相談し解決できている。(教育相談の充実)	3.5	3.2	3.7
11 学校生活や登下校時の児童の安全が確保されている。(安全確保)	3.7	3.1	3.8
12 児童の体力を向上させる取り組みが行われている。(体力向上の推進)	3.6	3.1	3.6
13 児童の健康意識を高める保健指導や食育が行われている。(健康教育の推進)	3.3	3.2	3.6
14 教職員が一体となって教育活動に取り組んでいる。(一体感のある学校)	3.5	3.3	3.9
15 行事や学校公開を積極的に行っている。(開かれた学校づくり)	3.8	3.4	3.7
16 教育方針や教育活動について分かりやすく伝えられている。(適切な情報公開)		3.2	3.4
17 アンケート等を活用し保護者地域の意見を受け止め、教育活動の改善に努めている。(保護者との連携)		3.1	3.6
18 学校公開や保護者会、学校行事にすすんで参加をしている。(保護者との連携)		3.3	

②令和6年度 アンケート集計結果（別紙様式1）

③意見交換

- ・高学年の18%の児童が学校に行くのが楽しみでないと答えているが、その児童たちの理由を探り、対応して欲しい。また、不登校の児童の実態とその対応について教えて欲しい。
- ・保護者の、児童のあいさつについて否定的評価の割合が25%と比較的多く、地域の方へのあいさつができていない。あいさつは大人からすれば返ってくる。
- ・子供たちはよく遊んでいる。体を動かすことなど健康教育を重視してきた成果が出ている。
- ・貝塚の史跡についての学習ができたのは良かった。これからも継続させて欲しい。
- ・登校班についての保護者の考え方はここ1、2年で随分変わってきている。地域とのつながりについてPTAの本部がしっかり説明することが大事。
- ・PCを使った学習については先生が熟知していることが大事。得意不得意はあると思うが研修をしっかりやって欲しい。
- ・同窓会の復活に向けて動きたい。
- ・地域のバリアフリーマップはとてもよい。ふるさとに愛着をもつのは大切。
- ・児童への質問で「滝五小はまとまりのある学校である」とあるが、「まとまり」というのが分かりづらい質問の仕方を検討した方がよい。

④全体として

- ・校長の学校運営に関する自己評価と児童、保護者、教員のアンケート、保護者の自由記述から、適切に助言をいただいた。
特に不登校傾向の児童の実態とその対応についての質問では、不登校の児童が少ないこと、また保護者と連絡を密にとっていること、スクールカウンセラーやSSWとの連携をしっかりとっていることを伝え理解を得た。引き続き家庭や外部機関との連携をとりながら不登校対策を進めていく。
- ・PTA活動の在り方や地域・保護者との連携については、近年の保護者の考え方の変化等を理解されながらご意見をいただいた。地域としては、子供たちの安心安全のために学校と家庭と地域が連携していくことの大切さをPTAが中心となって伝えていく必要があるとの指摘があった。
- ・学校評価としてはほぼ全ての項目で児童、保護者、教員ともに肯定的評価の割合が高く、教育活動を評価いただけており有り難いことである。今後も甘んじることなく課題にしっかりと目を向けよりよい教育活動を進めていけるようにする。